

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	港南はるかぜ保育園	種別：	認可保育園	
代表者氏名：	園長 吉原 大介	定員（利用人数）：	120（125）名	
所在地：	234-0051 神奈川県横浜市港南区日野8-31-36			
TEL：	045-849-1888	ホームページ：	https://www.harukaze.co.jp	
【施設・事業所の概要】				
開設年月日	2000年4月1日			
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 伸愛会			
職員数	常勤職員：	23 名	非常勤職員：	7 名
専門職員	保育士	30 名	栄養士	3 名
	看護師	2 名	調理員	1 名
	用務員	0 名	事務員	2 名
施設・設備の概要	居室数	保育室6室、ホール、一時保育室、調理室、事務室、更衣室、緊急24時間一時保育室	設備等	園庭、駐車場

③理念・基本方針

＜理 念＞
健全な環境の中で健やかな成長を保障し、且つ地域にひらかれた場で子ども同士が触れ合い、豊かな心、確かな考え、丈夫な体を育て社会に貢献できる人間教育を目指す。

＜基本方針＞

- ◆豊かなこころ(情緒)
 - ・問題やトラブルにぶつかってもくじけない心を育て、親を敬い、友達を思いやる気持ちを育てる
 - ・音楽、図工、遊びを通して豊かな感性を育て、命の尊さと平和を愛するところを育てる
- ◆確かな考え(認識)
 - ・「読み・書き・計算」を通して、自ら学んでいく力を育て、自然体験や友だち関係から、生きる知恵を学ぶ力も育てる
- ◆丈夫なからだ(体力)
 - ・運動神経の基礎は6歳までに固まるといわれております。生涯にわたって役立つ運動能力を育てる

『保育の構造』

- ◆基本的な生活
 - ・自律と自立のための生活リズムと健康習慣の確立を図る
- ◆あそび活動
 - ・子どもの全面発達を図るもっとも重要な活動。自然の中で五感を使う活動や友達と楽しむ集団遊び、いろいろな遊具、道具等をつかってのさまざまな遊び活動

④施設・事業所の特徴的な取組

港南はるかぜ保育園は、閑静な住宅地の中に立地し、はるかぜ系列6園の本園として運営されています。保育の基本方針として、人間としての全面発達を旨とし人格の基礎を培うための3つの柱、「心の力～豊かな心（情緒）」「学ぶ力～確かな考え（認識）」「体の力～丈夫なからだ（体力）」を掲げ、その実現に向けて、子どもたちがさまざまな体験ができるような保育を実践しています。

園では得意とする保育として最初に「絵本読み」を挙げています。「心育て」を身につけていく過程の中で、絵本との触れ合いをとっても大切に捉えて、日々の保育の中で、0歳児から5歳児まで、絵本読みを行っています。このほか、外部講師による指導として、英語、絵画、音楽、わらべ歌、スイミングを導入しています。また、子どもが自立・自律できるように、保育にヨコミネ式教育法を導入しています。ヨコミネ式保育として、読み書き、計算、けん盤ハーモニカ、体操、走りなどを日々の保育に取り入れています。園庭では、子どもといっしょに野菜と稲を育てて、食育につなげています。園では、さまざまな体験を提供することにより、子どもたちの豊かな感性をはぐくんでいます。

また、保護者との関係性も大切にしており、保護者の利便性を図るため、朝と夕に駅まで送迎バスを運行しています。

園では、地域のニーズに応じて、乳児保育、障がい児保育、延長保育などのほか、24時間型緊急一時保育を実施しており、地域の子育て支援の拠点となる保育園を旨としています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年4月28日（契約日）～ 2022年2月18日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	4回（2015年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

◆園が目ざす保育について職員や保護者に浸透し、保育が展開されています

法人の理念・保育方針は、ホームページやパンフレットに掲載され、園の使命や目ざす方向、考え方も明示されています。保護者には入園時の説明会や年度初めの保護者会で、理念や保育方針、ヨコミネ式を取り入れている保育内容などについて、ていねいに説明をして理解と同意を得られるよう努めています。また、玄関などの掲示により職員・保護者への周知を図っています。新入職員は法人の新人研修で理事長より説明を受け、目ざす保育については職員の意識付けを目的として職員トイレにも掲示し、毎朝のミーティングで唱和しています。目ざす保育が職員に浸透しており、指導計画作成に反映され、理念や保育方針に沿った保育が展開されています。

◆さまざまな体験を通して子どもの可能性を広げられるように努めています

心の力、学ぶ力、体の力を保育方針に掲げ、幼児期に育てて欲しい10の姿を実現するための取り組みとして、ヨコミネ式保育を取り入れ、子どもたちは、読み、書き、計算、体操、音楽、英語の活動を日々行っています。園では子どもの可能性は大人が思うより大きいと考えており、専門講師による音楽、絵画、英語、わらべ歌、スイミングの体験の機会も提供しています。すべてが上手にいかずに悔しい、悲しい思いもするかもしれませんが、これらの中で1つでも楽しい事、得意な事を見つけて、子どもが自分自身に自信を持てるように、また、自分で考えたり、自発性をはぐくめるように、職員は子どもの育ち、可能性の成長を見守っています。

◇改善を求められる点

◆キャリアパスを踏まえた個人別育成計画作成を検討されることを期待します

人材育成計画では望まれる職員像として「人権を尊重し、仲間との連携を大切に明るく前向きに仕事のできる人」を位置づけ、この実現に向けてキャリアパスを設定するとともに、年間の研修計画を作成しています。キャリアパスでは、階層別に求められる能力と必要な研修が示されています。これを受けて研修計画では、3点の基本方針を明らかにし、法人研修や園内・園外研修などが示されています。当園では、人材育成を課題と位置づけています。職員が自主的に職業能力の開発・向上に取り組む環境づくりのためにも、一層キャリアパスと連動した研修計画を作成するとともに、個人別の育成計画などの作成を検討されることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度の第三者評価を受けるにあたり、保育所運営の中で様々な点について振り返りを行いました。評価結果での指摘事項においては、今後の保育運営を行う上で、より良い保育サービスを提供できるように見直しを行いました。今後の課題を見つけながら、利用者の方たちが安心して利用できるように、保育の質と職員の意識向上に努めていく事が、継続的に保育サービスの提供を続けていくことに繋がると考えます。

保護者の皆様にはお時間の無い中、アンケートにご協力をいただきありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり